

野菜の需給・価格動向レポート(平成29年4月10日版)

1 主要野菜の生産出荷状況

・レポートの読み方については、注意書きを参照してください。

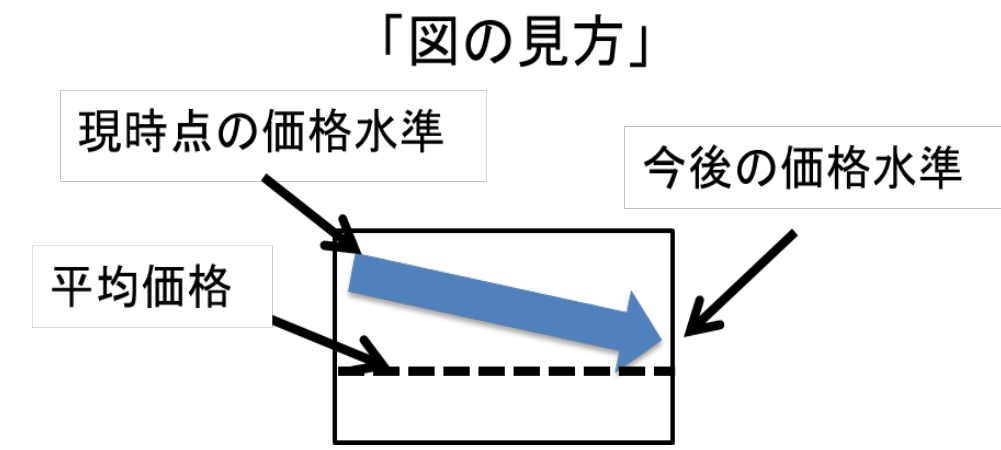
種類	3月の価格情報					4月 3月下旬の関東及び近畿ブロックの入荷量 ()内は、本年と過去3カ年平均値との比率	主産地	生育及び価格の4月中旬までの見通し	「図の見方」 現時点の価格水準 平均価格 今後の価格水準		
	(参考) 保証基準額の算定の基となる平均価格										
	指定野菜の関東・近畿ブロック旬別平均販売価格	上旬	中旬	下旬							
葉茎菜類	キャベツ	96.86	108	113	115	88.59	・10.756t (118%)	神奈川県(46)、愛知(36)	平均価格	神奈川県は、年明け以降の少雨により若干小玉傾向ではあるものの、3月下旬の降雨により回復がみられ、生育は概ね順調で、引き続き平年並みの出荷の見込み。愛知産は、天候に恵まれ生育は順調であるものの、冬作が前進出荷となり切上がりが早まったことから、引き続き平年よりやや少なめの出荷の見込み。	
		92.10	104	107	112	91.02	・3.653t (91%)	愛知(59)、兵庫(14)		神奈川県の出荷が平年並みと見込まれるものの、愛知産の出荷が平年よりやや少なめと見込まれることから、現在平年を上回っている価格は、引き続き平年を上回って推移する見込み。	
	たまねぎ	83.77	101	109	112	95.80	・9.186t (112%)	北海道(46)、佐賀(43)		北海道産は、貯蔵物からの計画的な出荷で出荷終盤をむかえ、引き続き平年並みの出荷の見込み。佐賀産は、昨年の天候不順の影響により極早生の草勢が弱いことから、現在平年より少なめの出荷となっているものの、今後は順調な生育となっている早生の出荷へと移行することから、平年並みの出荷の見込み。	
		83.77	89	100	108	95.80	・3.221t (113%)	北海道(48)、佐賀(20)、長崎(18)、兵庫(12)		北海道産及び佐賀の出荷が平年並みと見込まれることから、現在平年を上回っている価格は、平年に近づくものの、引き続き平年を上回って推移する見込み。	
	ねぎ (関東は白ねぎ、近畿は青ねぎ)	252.99	315	309	317	277.31	・1.756t (104%)	千葉(48)、埼玉(23)、茨城(11)、群馬(6)		千葉県は、春作は天候に恵まれ生育は概ね順調であるものの、秋冬作の切上がりが早めであることや稲作の準備作業が始まり収穫作業に専念できなくなることから、引き続き平年よりやや少なめの出荷の見込み。埼玉産は、干ばつの影響で土上げ作業ができず、現在平年より少なめの出荷となっているものの、3月下旬の降雨により作業ができたことから、今後は平年並みの出荷の見込み。茨城産は、天候に恵まれ適度な降雨もあったことから生育は順調で、引き続き平年並みの出荷の見込み。	
		473.04	543	530	416	334.73	・215t (98%)	徳島(29)、三重(24)、奈良(11)、香川(9)、高知(9)		埼玉県及び茨城産の出荷が平年並みと見込まれるものの、千葉産の出荷が平年よりやや少なめと見込まれることから、現在平年を上回っている価格は、平年に近づくものの、引き続き平年を上回って推移する見込み。	
	はくさい	64.18	91	110	162	67.05	・1.433t (83%)	茨城(87)		茨城産は、春作を中心とした出荷となり、天候に恵まれ生育は順調で肥大も良好であることから、引き続き平年並みの出荷の見込み。	
		68.70	88	106	127	74.06	・1.107t (95%)	長崎(33)、茨城(32)、宮崎(17)、熊本(13)		茨城産の出荷が平年並みと見込まれることから、現在平年を上回っている価格は、平年に近づくものの、引き続き平年を上回って推移する見込み。	
	ほうれんそう	338.43	340	458	444	376.10	・797t (115%)	茨城(33)、群馬(29)、埼玉(17)、千葉(11)		茨城産は、天候に恵まれ生育は順調であることから、引き続き平年よりやや多めの出荷の見込み。群馬産は、3月下旬の天候不順の影響はあるものの、生育は概ね順調であることから、引き続き平年並みの出荷の見込み。埼玉産は、2月の干ばつにより生育が遅れていたものの、3月下旬の降雨により生育が回復したことから、引き続き平年並みの出荷の見込み。	
		375.38	363	452	415	416.73	・347t (109%)	岐阜(41)、徳島(20)、福岡(16)		群馬産及び埼玉産の出荷が平年並みと見込まれるものの、茨城産が平年よりやや多めと見込まれることから、現在平年を上回っている価格は、平年並みに近づくものの、引き続き平年を上回って推移する見込み。	
	レタス(結球)	189.66	155	172	170	156.23	・3.702t (98%)	茨城(66)、兵庫(13)		茨城産は、3月下旬の低温の影響により生育が遅れ気味であることから、現在平年より少なめの出荷となっているものの、今後は気温の上昇が見込まれることから、平年並みの出荷の見込み。兵庫産は、3月の低温及び干ばつなどの影響により、現在少なめの出荷となっているものの、今後は気温の上昇や降雨も見込まれることから、平年並みの出荷の見込み。	
		193.43	159	171	171	165.00	・1.045t (98%)	兵庫(42)、茨城(16)、香川(15)、長崎(11)、徳島(9)		茨城産及び兵庫産の出荷が平年並みと見込まれることから、現在平年を上回っている価格は、平年並みに推移する見込み。	
果菜類	きゅうり	266.63	271	274	257	266.63	・5.315t (116%)	埼玉(24)、群馬(21)、宮崎(14)、千葉(14)		埼玉県は、3月下旬の低温の影響はあるものの、生育は概ね順調で、気温の上昇も見込まれることから、引き続き平年並みの出荷の見込み。群馬産は、3月下旬の天候不順により生育が遅れ気味であったことから、現在平年よりやや少なめの出荷となっているものの、天候回復及び気温上昇に伴い、今後は平年並みの出荷の見込み。千葉県は、天候に恵まれ適度な降雨もあり生育は順調であることから、引き続き平年よりやや多めの出荷の見込み。宮崎産は、気温が高めに推移し、着果も順調であることから、引き続き平年より多めの出荷の見込み。	
		254.91	266	266	248	254.91	・1.648t (115%)	宮崎(43)、高知(18)、徳島(14)、群馬(10)		千葉県及び宮崎産の出荷が平年よりやや多め若しくは多めと見込まれ、埼玉県及び群馬産の出荷が平年並みと見込まれることから、現在平年並みの価格は、平年をやや下回って推移する見込み。	
	トマト(大玉)	356.77	325	333	330	356.77	・4.676t (117%)	熊本(28)、栃木(23)、愛知(11)		熊本産は、天候に恵まれ生育は順調であることから、引き続き平年並みの出荷の見込み。栃木産は、やや小玉傾向ではあるものの、天候に恵まれ生育は順調であることから、引き続き平年並みの出荷の見込み。愛知産は、小玉傾向ではあるものの、天候に恵まれ生育は順調であることから、引き続き平年並みの出荷の見込み。	
		337.87	336	333	332	337.87	・1.692t (120%)	熊本(75)、福岡(8)		熊本産、栃木産及び愛知産において現在の出荷状況が続くと見込まれることから、現在平年を下回っている価格は、引き続き平年を下回って推移する見込み。	
	なす	347.77	418	403	383	347.77	・1.605t (116%)	高知(51)、福岡(22)		高知産は、3月下旬の天候不順の影響から現在平年よりやや少なめの出荷となっているものの、天候回復や気温の上昇に伴い、出荷量も回復すると見込まれることから、今後は平年並みの出荷の見込み。福岡産は、4月以降天候に恵まれ生育は概ね順調であることから、引き続き平年並みの出荷の見込み。	
		330.95	391	378	360	330.95	・709t (121%)	高知(37)、熊本(20)、福岡(17)、大阪(14)		高知産及び福岡産の出荷が平年並みと見込まれることから、現在平年を上回っている価格は、平年並みに推移する見込み。	
	ピーマン	578.80	493	475	444	339.20	・1367t (126%)	茨城(56)、宮崎(19)、高知(13)		茨城産は、天候に恵まれ生育は順調で、着果も良好であることから、引き続き平年よりやや多めの出荷の見込み。宮崎産は、天候に恵まれ気温も上昇し、生育は順調で前進傾向であることから、引き続き平年より多めの出荷の見込み。高知産は、3月下旬の天候不順の影響から現在平年よりやや少なめの出荷となっているものの、天候回復や気温の上昇に伴い、出荷量も回復すると見込まれることから、今後は平年並みの出荷の見込み。	
		565.30	468	437	393	311.41	・539t (121%)	宮崎(47)、高知(20)、茨城(12)		茨城産及び宮崎産の出荷が平年よりやや多め若しくは多めと見込まれ、高知産の出荷が平年並みと見込まれることから、現在平年を上回っている価格は、平年並みに推移する見込み。	
	根菜類	だいこん	79.03	88	81	89	56.59	・6.324t (109%)	千葉(74)、茨城(9)		千葉県は、降雨による播種の遅れの影響で現在平年よりやや少なめの出荷となっているものの、生育は順調であることから、今後は平年よりやや多めの見込み。
			80.47	81	85	87	89.53	・2.465t (145%)	長崎(45)、鹿児島(32)、香川(8)		千葉産の出荷が平年よりやや多めと見込まれることから、現在平年を上回っている価格は、平年並みに推移する見込み。
		111.16	169	167	162	156.99	・3.843t (108%)	徳島(74)、千葉(8)		徳島産は、前年の長雨により播種が遅れたものの、年明け以降の天候に恵まれ気温が高めに推移し生育も順調であることから、引き続き平年並みの出荷の見込み。千葉県は、天候に恵まれ生育は順調で太りが良いことから、引き続き平年並みの出荷の見込み。	
	109.97	144	164	163	148.36	・1.668t (133%)	徳島(70)、長崎(18)		徳島産、千葉県の出荷が平年並みと見込まれることから、現在平年並みの価格は、引き続き平年並みに推移する見込み。		

注：1 平均価格は、過去6カ年(平成20～25年)の関東及び近畿ブロックの中央卸売市場の各指定野菜の卸売価格を物価指数で修正した価格の平均(消費税は除く)で、保証基準額の算定の基となる価格。
2 旬別平均販売価格の赤字及び青の背景は平均価格と比較して150%以上のもの、太字及び赤の背景は保証基準額(平均価格の90%)を下回るもの(消費税は除く)であるが、必ずしも事業が発動するとは限らないため、あくまで参考である。
3 単位は円/kg、上段は関東、下段は近畿ブロック。
4 主産地は、東京都及び大阪市中央卸売市場への出荷の多い県名。()内は入荷シェアで平成27年実績である。
5 コメントは、都道府県、出荷団体、都道府県野菜価格安定法人、卸売会社等からの聴き取りをもとに機構が作成したものである。

1 主要野菜の生産出荷状況

・レポートの読み方については、注意書きを参照してください。

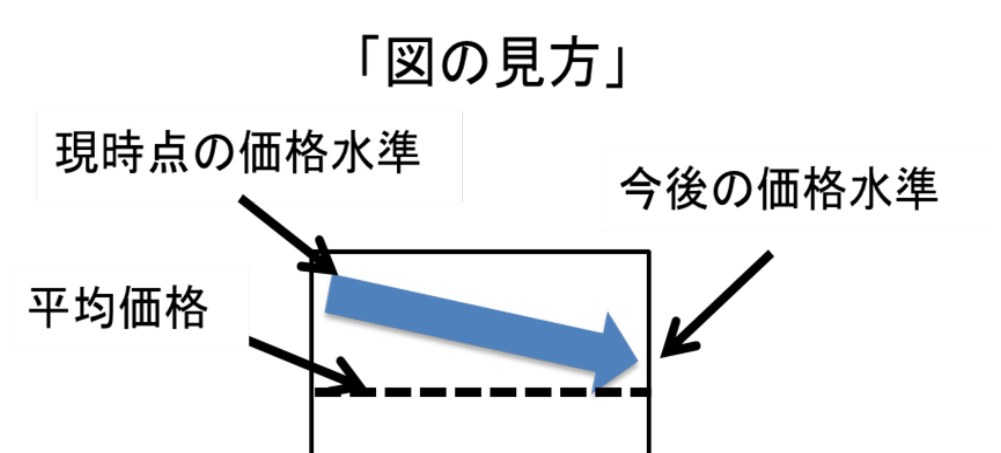
種類	3月の価格情報 (参考) 保証基準額の算定の基となる平均価格	3月の価格情報			4月 (参考) 保証基準額の算定の基となる平均価格	3月下旬の関東及び近畿ブロックの入荷量()内は、本年と過去3カ年平均値との比率	主産地	生育及び価格の4月中旬までの見通し
		指定野菜の関東・近畿ブロック旬別平均販売価格						
		上旬	中旬	下旬				
いも	228.85	233 (102%)	240 (105%)	227 (99%)	—	—	—	
	219.65	208 (95%)	198 (90%)	180 (82%)	—	—		
類	96.99	210 (217%)	214 (221%)	207 (213%)	138.39	・3.620t (96%)	北海道(49), 鹿児島(45)	
	96.99	198 (204%)	214 (221%)	204 (210%)	144.98	・968t (70%)		鹿児島(54), 北海道(40)



注：1 平均価格は、過去6カ年(平成20～25年)の関東及び近畿ブロックの中央卸売市場の各指定野菜の卸売価格を物価指数で修正した価格の平均(消費税は除く)で、保証基準額の算定の基となる価格。
 2 旬別平均販売価格の赤字及び青の背景は平均価格と比較して150%以上のもの、太字及び赤の背景は保証基準額(平均価格の90%)を下回るもの(消費税は除く)であるが、必ずしも事業が発動するとは限らないため、あくまで参考である。
 3 単位は円/kg、上段は関東、下段は近畿ブロック。
 4 主産地は、東京都及び大阪市中央卸売市場への出荷の多い県名。()内は入荷シェアで平成27年実績である。
 5 コメントは、都道府県、出荷団体、都道府県野菜価格安定法人、卸売会社等からの聞き取りをもとに機構が作成したもの。

1 主要野菜の生産出荷状況(特定野菜)

種類	3月の価格情報 (参考) 過去5カ年平均価格	3月の価格情報			4月 (参考) 過去5カ年平均価格	3月中旬の東京及び大阪市場の入荷量()内は、本年と過去3カ年平均値との比率	主産地	生育及び価格の4月中旬までの見通し
		東京・大阪市場の旬別価格						
		上旬	中旬	下旬				
洋菜類	315.79	245 (78%)	310 (98%)	328 (104%)	425.81	・956t (172%)	埼玉(30), 愛知(27), 香川(16)	
	336.11	277 (82%)	303 (90%)	336 (100%)	447.65	・213t (135%)		徳島(36), 香川(16), 長崎(14)
葉菜類	287.58	237 (82%)	287 (100%)	258 (90%)	311.05	・365t (130%)	茨城(44), 埼玉(30), 東京(12)	
	252.78	210 (83%)	205 (81%)	187 (74%)	274.87	・185t (148%)		福岡(79), 茨城(7)
根菜類	142.27	145 (102%)	157 (110%)	160 (112%)	132.85	・427t (118%)	千葉(88)	
	158.05	150 (95%)	149 (94%)	185 (117%)	169.59	・17t (91%)		千葉(36), 徳島(36)



注：1 平均価格は、過去5カ年(平成24～28年)の東京都及び大阪市中央卸売市場の価格。
 2 旬別価格は、上段は東京都中央卸売市場、下段は大阪市中央卸売市場であり、単位は円/kgである。
 3 旬別価格の赤字及び青の背景は、平均価格と比較して150%以上のもの、太字及び赤の背景は平均価格を80%を下回るもの(消費税は除く)であるが、必ずしも事業が発動するとは限らないため、あくまで参考である。
 4 主産地は、東京都及び大阪市中央卸売市場への出荷の多い県名。()内は入荷シェアで平成27年実績である。

2 野菜の輸出入動向 - 野菜の輸出入数量と主な生鮮野菜の輸出入について -

○輸入について
貿易統計によると、平成29年2月の生鮮野菜の輸入量は、7万2千トン(前年同月比110%)と、昨年の7月以降、8カ月連続で前年を上回って推移している。また、輸入量の多い加工野菜は12万1千トン(同95%)と、9カ月ぶりに減少したものの、野菜全体では、19万3千トン(同100%)と前年並みとなった。

このうち、中国産の輸入数量は合計で8万9千トン(同98%)で、輸入量の46%を占めるものの、6カ月ぶりに50%を下回った。

なお、生鮮野菜のうち、特に輸入量が前年を大幅に増加している、にんじん、たまねぎ及びねぎについては、昨年の天候不順の影響による国内産の不足感から、輸入増になったものである。

○輸出について
2月の輸出量は、野菜全体では1871トン(同33%)と、前年を大幅に下回った。生鮮野菜が、1014トン(同20%)と前年を大幅に下回ったためである。

これは、前年同月(平成28年2月)の生鮮野菜輸出量のうち、韓国および台湾への、たまねぎの従来からの輸出国が、天候不順等により不作となり、その代替として日本への引き合いが強まったことによるものである。これにより前年同月の輸出量のうち、直近5年のたまねぎ及びエシャロットは最高の輸出量(4078トン)であった。生鮮野菜全体の輸出量の82%をたまねぎ及びエシャロットが占めた。

2月の輸出量は、対前年で大幅に減少しているものの、一昨年の同月(平成27年2月)と比較すると、152%(同年同月665トン)とかなり大きく増加している。

1. 野菜の輸入数量

(単位: トン、%)

区分	平成27年		平成28年		平成29年2月		平成29年1月～2月	
	前年比	前年比	前年比	前年比	前年同月比	前年同月比	前年同月比	
生鮮野菜	826,845	93	862,416	104	71,680	110	139,844	119
加工野菜	1,752,337	98	1,768,892	101	121,077	95	282,732	108
野菜合計	2,579,182	97	2,631,308	102	192,756	100	422,576	111
うち中国産野菜合計	1,355,491	96	1,365,785	101	88,926	98	213,931	112
中国産シェア	53		52		46		51	

1-1. 主な生鮮野菜の輸入先(平成29年2月)

(単位: トン、%)

区分	輸入合計	1位		2位		3位	
		前年比	国名 数量	国名 数量	国名 数量		
たまねぎ	19,269	119	中国 17,665	タイ 816	米国 762		
かぼちゃ	11,990	85	ニュージーランド 10,444	メキシコ 1,539	豪州 7		
にんじん	6,450	185	中国 5,118	ベトナム 737	台湾 365		
ばれいしょ	6,213	116	米国 6,173	中国 40			
ねぎ	4,041	118	中国 4,041				
ジャンボピーマン	2,548	91	韓国 1,779	ニュージーランド 764	オランダ 6		
アスパラガス	1,550	94	メキシコ 1,505	タイ 21	ペルー 10		
にんにく	1,143	92	中国 1,061	スペイン 71	米国 10		

1-2. 同輸入先(平成28年2月)

(単位: トン)

区分	輸入合計	1位		2位		3位	
		国名 数量	国名 数量	国名 数量	国名 数量		
たまねぎ	16,201	中国 14,804	タイ 659	米国 458			
かぼちゃ	14,144	ニュージーランド 12,981	メキシコ 1,163				
にんじん	3,484	中国 3,322	ニュージーランド 71	台湾 48			
ばれいしょ	5,349	米国 5,349					
ねぎ	3,429	中国 3,429					
ジャンボピーマン	2,801	韓国 2,065	ニュージーランド 733	オマーン 2			
アスパラガス	1,647	メキシコ 1,606	タイ 17	ペルー 12			
にんにく	1,243	中国 1,180	スペイン 49	米国 14			

2. 野菜の輸出数量

(単位: トン、%)

区分	平成27年		平成28年		平成29年2月		平成28年1月～2月	
	前年比	前年比	前年比	前年比	前年同月比	前年同月比	前年同月比	
生鮮野菜	22,992	42	31,867	139	1,014	20	1,794	20
加工野菜	9,510	83	11,101	117	857	115	1,479	102
野菜合計	32,502	54	42,968	132	1,871	33	3,273	31

2-1. 主な生鮮野菜の輸出入先(平成29年2月)

(単位: トン、%)

区分	輸出合計	1位		2位		3位	
		前年比	国名 数量	国名 数量	国名 数量		
ながいも	433	88	台湾 230	米国 157	シンガポール 44		
いちご	240	161	香港 211	台湾 19	タイ 4		
たまねぎ及びジャロット	161	4	韓国 120	台湾 38	香港 3		

2-2. 同輸出先(平成28年2月)

(単位: トン)

区分	輸出合計	1位		2位		3位	
		国名 数量	国名 数量	国名 数量	国名 数量		
ながいも	492	米国 251	台湾 191	シンガポール 48			
いちご	149	香港 127	台湾 14	タイ 3			
たまねぎ及びジャロット	4,078	韓国 2,260	台湾 1,646	マレーシア 127			

2-3. 同輸出先(平成27年2月)

(単位: トン)

区分	輸出合計	1位		2位		3位	
		国名 数量	国名 数量	国名 数量	国名 数量		
ながいも	308	米国 186	台湾 102	シンガポール 19			
いちご	119	香港 95	台湾 20	タイ 2			
たまねぎ及びジャロット	6	香港 5	マレーシア 1				

資料：農畜産業振興機構「ベジ探」(原資料：財務省「貿易統計」) ※四捨五入の関係上、合計と国別の数字は一致しないことがあります。

●問い合わせ先 独立行政法人農畜産業振興機構 野菜需給部 需給業務課 戸田、河原、松岡、海老沼 TEL03-3583-9448、FAX03-3583-9484 ご意見、ご要望をお寄せください。
 ◆「野菜の需給・価格動向レポート」は月2回公表しています。公表時にメルマガでお知らせしますので、ご希望の方は当機構のホームページのトップ画面、メールマガジンから登録してください。
 ★この「野菜の需給・価格動向レポート」は、http://vegetan.alic.go.jp/vegetable_report.htmlに掲載しています。
 ※無断転載禁止 ・レポートに記載された情報をご利用になったことにより生じたいかなる損害に関して、当機構は一切の責任を負いません。